16

少女子（おとめご）の祈りの心集まれば
ましてマリヤの御像（おんぞうざ）光る

歌意

神様を信頼して祈る少女たちの気高い心が集まって、この世を明るく照らすとき人々のしあわせを願っておられるマリア様の像も喜びに輝くことでしょう。

掲出歌集　『瑠璃光』大正14（1925）年1月（晶子47歳）

・所 在 地　賢明学院中学高等学校（堺区霞ケ丘４丁３－30）
　　ＪＲ阪和線上野芝駅下車　西徒歩15分
　　南海バス堺東から乗車　霞ヶ丘下車　東徒歩５分
・建　　立　平成12年２月14日　賢明学院高等学校
・書　　藤田　茂（元教頭）
・連 絡 先　賢明学院　072-241-1679

平成11（１９９９）年度、聖フランシスコ・ザビエル来堺４５０年と賢明学院高等学校生徒の卒業を記念して晶子の歌碑が建立された。同校は堺市唯一のカトリック学校である。高校生たちの「アベマリア」の歌声が響く中、除幕式が行われた。碑材は中国山西省産の黒御影石が用いられた。

最初、郷土史家でクリスチャンの岡村平兵衛氏にかかわる晶子の歌「そのむかしサンタマリアといちはやく見知りし人のありしふるさと」が良いと思われたが、出典箇所探索中に賢明学院創立者マリー・リヴィイェの精神と同じ内容を詠んだこの歌と出会い選ばれた。

※昭和15（１９４０）年5月（晶子62歳）2回目の脳溢血で倒れる。容態がやや好転した9月、二女七瀬の奨めでカトリックの洗礼を受けた（洗礼名ヘレナ）。